

朝霞第三中学校 教職員の働き方改革の取組状況
(朝霞市立小中学校教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画) について

本校では、教職員が心身ともに健康で、生徒一人一人により良い教育を提供できるよう、「朝霞市立小・中学校教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、教職員の働き方改革に取り組んでいます。

今年度の本校における取組状況について、次のとおりお知らせします。

項目	内容
現状と課題	・経験年数の浅い教職員において、時間外在校等時間が長い傾向が見られる。 ・生徒指導や教育相談など、複数教員で対応する体制づくりにより、丁寧かつ迅速な対応を心がけている。 ・教職員一人一人が退勤時刻を設定し、勤務時間を意識した働き方を行うことで勤務時間の適正化につながっている。 ・ICT を効果的に活用し、教材研究や成績処理、学年事務等において、業務の効率化が進んでいる。 ・学校の実態に即した日課の見直しや学校行事の精選など、教職員の負担軽減と効果的な教育活動との両立につなげている。 ・「生徒のために、できるだけ多くの教育実践をしたい」という意欲と、「業務を精選し、教職員の負担を減らす」という働き方改革に関する取組の間に、悩みや葛藤を感じる教職員が少なからずいる。
今年度の重点的な取組	・教職員一人一人が働き方を定期的に振り返る機会を設け、教育の質を高めるための取組を実践する。 ・経験年数の浅い教職員へのサポートや中堅・ベテランとのペア対応など、経験や専門性を生かして組織的に対応できる体制づくりを強化する。 ・校務支援システムの効果的な活用や充実、業務の共有化・分担化を進め、教職員が自らの働き方を見つめ直す中で生徒と向き合い、質の高い教育実践に時間を充てられる環境を整える。
その他の取組・今後の取組	・「生徒のために時間を使う」という視点を大切にし、教育の質の向上と教職員の働き方改革の両立を目指す。 ・教職員の勤務状況や業務の実態を定期的に把握し、取組の成果と課題を共有しながら、継続的な改善を図る。 ・校務の精選、ICT の活用、業務の共有化・分担化を進め、教職員の負担軽減と業務の効率化を図る。 ・教職員同士が支え合い、経験年数や専門性に応じて協働できる組織体制を整える。